

啄木がつなぐ

文京区と盛岡市の絆

石川啄木の生誕の地である盛岡と終焉の地である東京都文京区。この縁がきっかけで、両都市の友情を深め、永続的な交流が図られることを願って友好都市として提携しました。文京区とのこれまでの交流などを紹介します。 ☎ 企画調整課 ☎626-7534



▲文京区から市に贈られた江戸甲冑（日本伝統工芸甲冑士・加藤納美さん作）

友好都市提携調印式（2月20日）



左から、名取頭一文京区議会議長、成澤廣修文京区長、石川啄木の曾孫・石川真一さん、谷藤裕明盛岡市長、天沼久純盛岡市議会議長



言語学者の金田一秀穂さんが、盛岡市の名誉市民である祖父・金田一京助と啄木の友情などについて講演



盛岡駅前滝の広場に設置した友好都市提携記念碑。揮毫は、石川真一さんによるもの

写真提供：石川啄木記念館

文京区ってどんなまち？

東京23区のほぼ中心に位置し、人口は約22万人。江戸～明治時代には、東京大学を始め、多くの高校や大学が区内に設置され、「学問の府」「文教の府」という特徴から「文京区」と名付けられました。また、出版や印刷・製本などの数多くの文化創造産業が栄え、文化と教育のまちとしても知られています。森鷗外や夏目漱石、樋口一葉など数多くの文人も住み、ゆかりのある文人は約200人も。又の京と称されるこの地から数多くの名作が生まれました。啄木も同郷の先輩である金田一京助を頼って移り住み、明治45年にこの地で亡くなりました。



①小石川後樂園（国指定特別史跡・特別名勝）



②湯島天満宮



③石川啄木顕彰室と石川啄木終焉の地歌碑

- ①江戸時代初期に水戸徳川家が造成。琵琶湖を表現した池「大泉水」を中心にした回遊式の庭園で、桜やカキツバタなど、四季を通じ、美しい景色を楽しめます
- ②学問の神様・菅原道真公を祭る神社で、「湯島天神」とも呼ばれています。梅の名所で、約300本の梅が咲き誇ります
- ③啄木最後の歌とされる第二詩集「悲しき玩具」冒頭の二首が刻まれた歌碑。碑材は、姫神山麓から採れる「姫神小桜石」を使用。顕彰室では啄木の直筆原稿やこの地から送った手紙などを展示しています

これまでの交流

平成19年度から交流が始まり、それぞれの文化など魅力を知ること、友好を深めてきました。

▶啄木学級 文の京講座

交流のきっかけとなった講座。文京区と市が、啄木の「文人としての功績」と「ひとりの人間としての魅力」を知ってもらうために文京区で開催し、毎年300人以上が受講しています。

▶文京博覧会

文京区の産業や食、伝統工芸品を紹介する同博覧会で、盛岡市のブースを毎年出展。盛岡冷麺や盛岡りんごなどの特産品を販売してい

ます。サンふじが大人気で、毎年購入する人もいます。

▶盛岡さんさ踊り

昨年は文京区民が来盛し、盛岡さんさ踊りを楽しみました。また、3月には、文京区民がさんさ踊りを体験したり、「文京さくらまつり」で、ミスさんさによる踊りの披露を楽しみました。

▶各種協定を締結

平成23年に「災害時における相互応援に関する協定」、24年に「地域文化交流に関する協定」を締結しました。



◀子どもの孤立を防ぐ文京区の「子ども宅食プロジェクト」を支援するため、岩手中央農業協同組合と新岩手農業協同組合から白米1.2トンを贈呈

本年度も、文京区の小学生が盛岡の自然を体験する「小学生農村体験交流」など、さまざまな交流事業を企画しています！



もりけんに挑戦
(11ページに掲載)の答え
①黄金

広報もりおかへのご意見をお待ちしています
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

先人たちがつなぐ縁。こうした交流がきっかけで、文京区・盛岡市の子どもの世界が広がるといいですね。(池内)



地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。